２０２６年度

大学院入学者選抜要項

経営学研究科　経営学専攻

修士課程・博士（後期）課程

大学院進学説明会

第２回
2025年12月６日（土）予定
午前10時30分～正午

〈自家用車での来校は固くお断りします〉

北　海　学　園　大　学

目　　次

はじめに

３つのポリシー

修士課程

●選　抜　要　項

○募集人員／出願資格 …… 1
○出願期間／出願書類 …… 2
○入学検定料／出願場所／選抜方法／試験日・試験会場／その他 …… 4
○試験科目・時間 …… 5
○合否判定の判定および基準／合格発表／入学手続 …… 6
○その他 …… 7
○学費 …… 10
○明示書 …… 11

博士（後期）課程

●選　抜　要　項

○募集人員／出願資格／出願期間／出願書類 …… 15
○入学検定料／出願場所／選抜方法／試験日・試験会場 …… 16
○試験科目・時間／合否判定の判定および基準／合格発表／入学手続 …… 17
○その他 …… 18
○学費 …… 19

出願書類

研究へのいざない

北海学園大学大学院経営学研究科で研究を志す皆様へ

北海学園大学大学院経営学研究科は2000年（平成12年）に修士課程が、そして2002年（平成14年）には博士（後期）課程がスタートしました。21世紀を迎えた今日、少子高齢化という言葉に象徴されるように、日本の社会は若年者中心で人口増が続く構造から、高齢者中心で人口は減少して行く構造への大きな構造変化の過程にあります。このことは一面マイナスに見えますが、プラスのチャンスでもあります。それは、これが従来の量的拡大ないし膨張から、質的拡大、すなわち成熟への変容でもあるからです。このような変動の中にあって、企業をはじめ様々な組織もまた、これに適応できる構造への変革が急務となっており、その方向性、方法論を探究する学問基盤である経営学に対する期待がますます大きくなっております。そして、それを担う人材、すなわち経営学の諸分野において既存原理の応用と新しい原理の探究を行い得る高度な研究能力を有する実践的研究者及び高度職業人の育成が強く求められています。

本研究科は、社会の一線で活躍している社会人の方々の修士号・博士号取得に力点を置き、履修方法についても在職しながら講義・演習を受講できるよう「教育方法の特例」を実施し、修業年限の全期間を通じ夜間及び土曜日の履修で修了が可能となっています。また、2012（平成24）年度入学より導入された「長期履修制度」は、仕事と学業との両立をはかり、単年度の経済的負担も軽減することが出来るようになっています。さらに、地下鉄駅直結という交通の利便性に加え、最新鋭のマルチメディア、ネットワーク環境を備えた施設、研究指導教授の増員など、社会に開かれた大学院研究科としての教育研究体制が一段と充実してまいりました。修士・博士両課程の一貫した教育研究体制により、我々の暮らしの場である北海道経済の自律化活性化に資する優れた人材を育成することが本研究科の社会的使命であり責任であると考えています。

大学院では、明確な研究意識と強い探究心、専門的素養と持続的努力が必要となります。本研究科を志望される方の多くは、社会人として多忙な時間を過ごしておられ、学究の道は決して平坦ではないでしょうが、実践的問題意識を基礎に修士論文や博士論文を観戦させることによって修士（経営学)。博士（経営学）の学位を取得するという高い目標に向かって挑戦されることを強く期待しております。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

社会・経済・文化においてグローバリゼーションが進行する今日、企業など組織を取り巻く環境は著しく変化しています。こうした中、経営学研究科は、これからの時代が求める広い領域の知識や技術と関心をあわせ持った「新しい専門家」や「高度の研究者」を育成することを目的としています。特に、社会人にとっては自らの職業から得られる経験を生かしながら、その経験をさらに充実・深化させ、さらには大きく飛躍するために、本大学院で学ぶことは有意義となるでしょう。こうした目的および認識から、本研究科では経営学専攻の修士課程・博士（後期）課程を設け、以下のような人を求めています。

・組織に生起する経営現象について、組織経営、組織情報、組織心理の側面からその原理を探求しようとする強い熱意を持つ人。
・組織経営、組織情報、組織心理の研究成果を総合し融合することで、組織に生起する経営現象の解明を志す人。
・職場で生起する課題を常に強く意識し、その解決に向けて果敢に取り組もうとする人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

経営学研究科は、専門的な学術の理論を教授し、専攻分野における研究能力を養い、21世紀の国際社会及び地域経済社会に貢献する学識豊かな実践的研究者及び高度職業人の育成を目的としています。

修士課程においては、講義・演習・修士論文の作成の３つの柱から、カリキュラムを構成しています。講義科目は、組織経営、組織情報、組織心理の３つに大別されます。２単位の講義科目をいかに組み合わせるかによって、８つの講義科目履修モデルが提示されており、履修のためのガイドラインとなっています。修士課程での演習では、指導教授によって２年間継続的に指導がなされ、修士論文の作成を目指すことになります。中間報告会を実施して、論文の完成度を高めています。

博士（後期）課程においては、特殊研究による指導教授の講義と博士論文の作成が主に行われます。指導教授による論文作成のための指導は３年間継続して行われます。博士（後期）課程においても中間報告会を実施して、論文の完成度を高めています。また、修士課程・博士（後期）課程いずれにおいても、院生のほとんどは社会人のため夜間・土曜日の開講を積極的に推し進めています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修士課程においては､所定の修業年限および修得単位を満たし､修士論文審査に合格した者に対し修士(経営学)の学位を授与します。修士の学位を授与された者は、課題を探求し、解決する能力を備えた実践的研究者及び高度職業人として、社会の各分野で活躍しうる人材と認められたことになります。

博士（後期）課程においては、所定の修業年限および修得単位を満たし、博士論文審査に合格した者に対し博士（経営学）の学位を授与します。博士の学位を授与された者は、既存原理への問題提起や新原理の探求を行いうる高度な研究能力を有し、学識豊かな実践的研究者及び指導的な高度職業人として、広く社会および学会に貢献しうる人材と認められたことになります。博士論文提出後は公開の報告会を義務付けるとともに広く研究成果を公開しています。

修 士 課 程

選 抜 要 項

１．募 集 人 員

研 究 科	修 士 課 程	定 員
経営学研究科	経 営 学 専 攻	＊７名

＊　学内推薦選抜、社会人特例選抜を含む

２．出 願 資 格

[一般選抜] [学内推薦選抜][注1]

⑴　大学を卒業した者及び2026年３月卒業見込みの者
⑵　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者[注2]
⑶　文部科学大臣の指定した者
⑷　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすもの）を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者
⑸　その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注１）大学院経営学研究科（以下、研究科）では、北海学園大学経営学部に所属し、以下の要件をすべて満たす学生（外国人留学生を含む）で、十分な研究能力を持つと研究科委員会が判断した場合、研究科修士課程への推薦入学を認めることができる。

要件

⑴　出願時に本学に３年以上在学していること
⑵　学業成績が非常に優秀であること（出願前に経営学部事務室に必ず確認すること）
⑶　研究科の指導担当予定教授１名の推薦があること（ただし、学部における演習の履修は前提としない）

ただし、大学を卒業できない場合、入学を許可しない。

注２）大学教育修了までの学校教育の課程が初等教育から通算して16年に満たない国において大学教育を修了した者は、日本国内または国外の大学もしくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関の研究生、研究員等として相当期間（１年以上）研究に従事した場合には、在籍した期間が加算され、入学資格の要件を満たすことになります。

[社会人特例選抜][注1]

2026年４月において定まった職業（正社員）を有する者（自営業従事者を含む）又は定年退職者・主婦・その他豊富な社会経験を有する者[注2]で、下記の⑴～⑸のいずれかに該当する者

⑴　大学を卒業した者及び2026年３月卒業見込みの者
⑵　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者[注3]
⑶　文部科学大臣の指定した者
⑷　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上で文部科学大臣が定める基準を満たすもの）を修了した者及び2026年３月31日までに修了見込みの者
⑸　その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者[注4]

注１）職業を有している等の理由により、長期履修（３年）による教育課程を希望する場合、入学願書の所定欄に記載のこと。

注２）出願資格の有無についての問い合わせは、出願する前に経営学部事務室までお願いいたします。

注３）大学教育修了までの学校教育の課程が初等教育から通算して16年に満たない国において大学教育を修了した者は、日本国内または国外の大学もしくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関の研究生、研究員等として相当期間（１年以上）研究に従事した場合には、在籍した期間が加算され、入学資格の要件を満たすことになります。

注４）⑸による志願者は、願書を受理する前に個別の出願資格審査を行いますので、出願前にあらかじめ経営学研究科に照会し、以下の書類を提出してください。

なお、本審査の対象者は、看護師・保健師・助産師の実務経験が３年以上ある者で、ａ）看護系の３年課程の短期大学を卒業して看護師免許を有する者、ｂ）保健師助産師看護師学校養成所指定規則第４条第１項に基づく３年課程の看護師学校養成所を卒業して看護師免許を有する者、のうちいずれかに該当する者とします。

①出願資格審査申請書（本研究科所定用紙）

②最終学校の卒業証明書、成績証明書

③看護師免許証

３．出　願　期　間

	受　付　開　始　日	受　付　締　切　日
第　Ⅰ　期　募　集 （学内推薦選抜・一般選抜・社会人特例選抜）	2025年８月22日（金）	2025年９月８日（月）
第　Ⅱ　期　募　集 （一般選抜・社会人特例選抜）	2026年１月８日（木）	2026年１月15日（木）

窓口受付時間　平日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時40分は除く）

土曜　午前９時から正午まで

＊郵送出願の場合は、「書留」とし、受付締切日まで到着するよう郵送すること。

４．出　願　書　類

［一般選抜］［学内推薦選抜］

出願者は、次の書類を一括し、次項５の要領で入学検定料を振り込みの上、提出すること。

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）

⑵　受　験　票（本学所定の用紙）

⑶　志望理由書（本学所定の用紙または本学所定のExcelファイル）

⑷　研究計画書（本学所定の用紙または本学所定のExcelファイル）

⑸　卒業証明書または卒業見込証明書

⑹　最終出身学校の成績証明書

⑺　指導担当予定教員の推薦書（学内推薦選抜のみ）

⑻　北海学園大学大学院　授業料減額申請書（本学在学生・卒業生のみ）

⑼　写真２枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦３ｃｍ×横３ｃｍ）

⑽　受験票送付用封筒（440円分の切手を貼付したもの）

※　出願手続について以下の事項に注意すること。

〈一般選抜〉

⑴　「演習指導希望教員名」欄には入学後の指導教員の第１、第２希望者名を記入すること。なお、研究計画書の作成にあたっては、**事前指導を行う**ので、出願する前に窓口（経営学部事務室問い合せ先ＴＥＬ011－841－1161㈹内線2401）に申し出ること。最終的に、入学後の指導教員については、入学時に指

導体制を勘案し、調整して決定する。

㈺　志望理由書に「志望の理由」を具体的に記入すること。

〈学内推薦選抜〉

㈠　「演習指導希望教員名」欄には入学後の指導担当予定教員1名のみ記入すること。

㈺　志望理由書に「志望の理由」を具体的に記入すること。

外国人留学生選抜の場合

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）２枚
⑵　受　験　票（本学所定の用紙）
⑶　研究計画書（本学所定の用紙）
⑷　最終出身学校の卒業証明書（及びある場合は学位記の写し）
⑸　最終出身学校の成績証明書
⑹　最終出身学校または所属機関の推薦書
⑺　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦３ｃｍ×横３ｃｍ）
⑻　受験票送付用封筒（440円分の切手を貼付したもの）
⑼　在留カードの写し（両面）

※１　証明書については原本とするが、本学研究生出願時に提出している場合コピーしたものでよい。
※２　推薦書が日本語以外の言語で記されているものについては、日本語の訳文を添付すること。

［社会人特例選抜］

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）
⑵　受　験　票（本学所定の用紙）
⑶　志望理由書（本学所定の用紙）
⑷　研究計画書（本学所定の用紙）
⑸　卒業証明書または卒業見込証明書
⑹　最終出身学校の成績証明書
⑺　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦３ｃｍ×横３ｃｍ）
⑻　受験票送付用封筒（440円分の切手を貼付したもの）
⑼　指導希望教員の推薦書

※出願書類について以下の事項に注意すること

㈠　**「研究計画書」**の作成にあたっては、**事前指導を行う**ので、出願する前に必ず窓口（経営学部事務室問い合せ先 TEL011－841－1161㈹内線2401）に申し出ること。最終的に、入学後の指導教員については、入学時に指導体制を勘案し、調整して決定する。

㈺　志望理由書は、具体的に記入すること。

�haha　研究計画書は、修業年限（標準修業年限２年、長期履修３年）に対応した研究計画を記載すること。

外国人の場合

⑴　入 学 願 書（本学所定の用紙）２枚
⑵　受　験　票（本学所定の用紙）
⑶　研究計画書（本学所定の用紙）
⑷　最終出身学校の卒業証明書（及びある場合は学位記の写し）
⑸　最終出身学校の成績証明書
⑹　最終出身学校または所属機関の推薦書
⑺　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦３ｃｍ×横３ｃｍ）
⑻　受験票送付用封筒（440円分の切手を貼付したもの）

⑼　在留カードの写し（両面）
⑽　指導希望教員の推薦書
※１　証明書については原本とするが、本学研究生出願時に提出している場合コピーしたものでよい。
※２　推薦書が日本語以外の言語で記されているものについては、日本語の訳文を添付すること。

【出願における注意事項】
一旦提出した書類等は、理由の如何にかかわらず返還しない。

５．入 学 検 定 料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要事項を記入し、切り離して最寄りの銀行に「電信扱い」で振り込むこと。（指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料ですが、他の金融機関から振込みの場合、振込手数料が有料となるので、各窓口で確認してください。）
＊　入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印（取扱銀行出納印）①～④がすべて押印されているか確認すること。

６．出　願　場　所

北海学園大学経営学部事務室
〒062－8605　札幌市豊平区旭町４丁目１番40号　☎011－841－1161（内線2401）

７．選　抜　方　法

⑴　選考は筆記試験・口述試験・研究計画書等による。
⑵　試験の結果によっては、募集人員に達しない場合であっても入学を許可しないことがある。

８．試験日・試験会場

	第　Ⅰ　期	第　Ⅱ　期
試　　験　　日	2025年10月４日（土）	2026年２月14日（土）
試　験　会　場	北海学園大学（豊平キャンパス）	

＊自家用車による来校は固く禁ずる。公共交通機関を利用すること。

９．その他（既修得単位と在学期間短縮の認定について）

本研究科に入学する前に大学院で修得した単位がある場合、その講義内容や単位数、単位修得に要した期間等を勘案し、本研究科の修士課程の一部を履修したものと認め、１年を超えない範囲で本研究科が定める期間在学したものとみなすことがあります。
出願期間前に審査を必要とすることから、審査を希望される場合は、以下の書類を各受付期間までに経営学研究科事務室へ提出してください。

［必要書類］
①成績証明書
②シラバス（写）※認定を希望する科目の講義内容（履修時）が記載されているページ

［受付期間］

第Ⅰ期　受付期間：2025年7月22日（火）まで

第Ⅱ期　受付期間：2025年12月8日（月）まで

10. 試験科目・時間

【学内推薦選抜】

科　　目（満点）	時　　間	内　　容
口述試験　　（30点）	10：30 ～	研究計画、進路等を中心に面接

【一般選抜】

科　　目（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 専門科目　（200点）	10：30 ～ 11：50	1.共通専門科目* 2.指導希望教授担当科目
口述試験　　（30点）	13：00 ～	筆記試験、研究計画、進路等を中心に面接

＊出願時に、組織経営、組織情報、組織心理に関する分野から一つ選択。

外国人留学生の場合

科　　目（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 専門科目*1　（200点）	10：30 ～ 11：50	1.共通専門科目*2 2.指導希望教授担当科目
口述試験　　（20点）	13：00 ～	会話力、研究計画等を中心に面接

＊1　日本語辞書の持ち込みは可、電子辞書の持ち込みは不可。

＊2　出願時に、組織経営、組織情報、組織心理に関する分野から一つ選択。

【社会人特例選抜】

科　　目（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 専門科目　（200点）	10：30 ～ 11：50	1.共通専門科目* 2.指導希望教授担当科目
口述試験　　（50点）	13：00 ～	研究計画等を中心に面接

＊出願時に、組織経営、組織情報、組織心理に関する分野から一つ選択。

外国人の場合

科　　目（満点）	時　　間	内　　容
筆記試験 専門科目*1　（200点）	10：30 ～ 11：50	1.共通専門科目*2 2.指導希望教授担当科目
口述試験　　（20点）	13：00 ～	会話力、研究計画等を中心に面接

＊1　日本語辞書の持ち込みは可、電子辞書の持ち込みは不可。

＊2　出願時に、組織経営、組織情報、組織心理に関する分野から一つ選択。

11. 合否判定の判定および基準

区　　分	
学内推薦選抜	書類審査（研究計画書を含む）及び口述試験の結果を多面的・総合的に評価・判定する。
一般選抜	書類審査（研究計画書を含む）及び筆記試験と口述試験の結果を多面的・総合的に評価・判定する。
社会人特例選抜	

⑴「書類審査」においては、出願書類に含まれる「志望理由書」と「研究計画書」を中心として、修士課程における学修の素養を確認する。

⑵「筆記試験」においては、専攻する専門科目に関する能力・知識を問う。

⑶「口述試験」においては、出願書類に含まれる「研究計画書」に記された研究計画が標準修業年限（長期履修希望者においては３年）で達成可能かどうかについて、研究計画の内容、専門分野に関する知識のほか、論理性、発想、問題関心、意欲、態度をはじめとする全般的な学修研究能力の観点から評価する。また、外国人留学生については日本語能力も問う。

12. 合　格　発　表

第 Ⅰ 期　2025年11月７日(金)　正午

第 Ⅱ 期　2026年３月３日(火)　正午

合格者は、北海学園大学経営学部掲示板に掲示する。また、合格者には合格通知書および入学手続書類を郵送する。

不合格者には、試験結果通知書を郵送する。

(電話での問い合わせには応じない)

13. 入　学　手　続

2026年３月10日(火)　正午まで

合格者は期日までに次の書類に学費を添えて手続きを完了のこと。

⑴　事　項　届（所定用紙）

⑵　学生カード（所定用紙）

⑶　卒業証明書（卒業見込みで受験した者のみ）

⑷　成績証明書（卒業見込みで受験した者のみ）

⑸　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの　縦４cm×横３cm）

⑹　学費等振込後の「払込票（兼受領証)」の写し

〈以下外国人留学生・外国人のみ〉

⑺　誓　約　書

⑻　在留カードの写し（両面）

⑼　パスポートの写し（顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分）

⑽　学費支弁者の預金残高証明書及び預金通帳写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの

⑾　上記の資金形成に至る過去３年間の収入に関する資料（年ごと）

⑿　学費支弁者の在職証明書（または法人登記簿)、収入を明らかにする資料及び受験生との関係を証明する資料

＊　ただし第１次手続として、第Ⅰ期合格者は2025年11月22日（土）までに入学金を納入しなければならない。

在留カードの写しの提出

外国人留学生・外国人の場合

⑴　入学手続が完了した者には、本学から入学許可書を発行する。入学許可書を発行された者は、入国管理局で在留資格「留学」の延長手続を行い、在留カードの交付・更新を受けること。

⑵　在留資格「留学」の延長手続を終えた者は、在留カードの写し（両面）を、経営学部事務室に提出すること。

⑶　在留カードの写しの提出期限は、入学年の４月10日とする。

※１　社会人特例選抜及び社会人特例特別推薦選抜で入学を希望する方は「大学院入学者選抜要項」の「出願資格」を参照してください。

※２　留学ビザを取得していない受験者は、大学院合格後のビザ取得に時間がかかり、入学の条件を満たせない場合が多いので、本学経営学部研究生や大学に入学するなど、事前にビザを取得した後での受験が望ましい。なお、本大学経営学部に研究生として入学を希望する者は、「経営学部研究生募集要項」を参照してください。

14. そ　の　他

〈合理的配慮の提供について〉

相談窓口

経営学研究科事務室　【メール】kyomu-ei○hgu.jp　（○を@に変えてください）
【お電話】011－841－1161㈹　経営学研究科 事務担当（内線2401）

事前相談や配慮申請方法

病気･負傷や障害等のために、受験時や入学後の学修に際して配慮を希望する方は、出願１か月前を目安に、必ず経営学研究科事務室までご相談ください。このような状態以外（例：ジェンダーに関する配慮等）についても、同様にご相談ください。なお、希望する内容によっては、診断書などの提出が必要になり、場合により面談を行いますが、配慮を行えないこともあります。

ご相談内容や提出された書類は、経営学研究科事務室と関連部署間で共有し、受験上の配慮や入学後の配慮のために活用いたします。また、出願時および入学手続き書類等における個人情報の取扱いに準じて処理し、管理いたします。

なお、過去の配慮事例には次のようなものがあります。受験者の状況等により、配慮内容は異なります。

受験上の配慮の一般的な例

・車いす使用での受験可能座席の確保
・試験中の投薬
・別室受験または個室受験
・試験室内での希望座席
・補聴器の使用
・試験中の水分補給
・試験時口頭説明内容の文書配布
・拡大機の持込、問題･解答用紙の拡大
・時間延長
・付き添い者の控室
・特製専用机の持込
・自家用車での入構
・指定マイクの使用
・休憩時の介助者入室
・試験室内への医療器具の持込

〈過去の入試問題について〉

大学ホームページ（https://www.hgu.jp/examination/graduate-past-questions.html）において、過去の入試問題を公開していますので、ご参照ください。

〈長期履修制度について〉

職業を有している等の事情により、標準修業年限（２年）を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する場合、入学願書に必要な記載を行い、願い出ることで、本研究科は、長期履修（３年）を認めることがあります。長期履修が認められると、時間的に余裕を持った研究計画を立てることができるばかりでなく、授業料などがより長期に按分されますので、単年度の経済的負担を軽減することができます。また、長期履修を認められた学生が長期履修期間の短縮を願い出ることもできます。この制度は社会人特例での受験者に該当します。

〈本研究科へ入学する前に修得した単位がある場合の在学期間短縮について〉

本研究科に入学する前に大学院で修得した単位がある場合、その講義内容や単位数、単位修得に要した期間等を勘案し、本研究科の修士課程の一部を履修したものと認め、１年を超えない範囲で本研究科が定める期間在学したものとみなすことがあります。詳細は、必ず出願期間前に経営学研究科事務室へお問い合わせください。（※P4「9.」を参照してください。）

〈教育職員免許状の取得について〉

本研究科では、高等学校一種免許状（商業）を有する場合に、「教科に関する科目」群から必要単位を修得することによって高等学校専修免許状（商業）を取得することができます。（※詳細についてはお問い合わせください。）

〈奨学金について〉

研究生活を経済的側面から支援するものとして、北海学園奨学金、日本学生支援機構奨学金などの各種奨学金制度があります（それぞれの制度によって奨学生採用の要件や給付・貸与の金額等が異なります）。これらの制度を有効に活用してください。

〈北海道大学大学院経済学院との単位互換について〉

本研究科は、北海道大学大学院経済学院との間において単位互換協定を締結しており、大学院学生が相互に授業科目を履修し、15単位を超えない範囲で単位を修得することを認めております。

〈教育訓練給付制度について〉

大学院経営学研究科経営学専攻修士課程は、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座です。一定の要件を満たす者が本課程を受講し、修了した場合、対象教育訓練の受講のために当該受講者本人が教育訓練施設に支払った費用の一部がハローワークから支給されます。制度の概要は以下のとおりとなっておりますが、詳しくは最寄のハローワークにお問い合わせください。

支給対象者：①雇用保険の一般被保険者である者のうち、支給要件期間（受講開始日において同一の事業主の適用事業に引き続いて被保険者として雇用された期間）が３年以上ある者。②受講開始日において一般被保険者でない者のうち、一般被保険者資格を喪失した日（離職の日の翌日）以降、受講開始日までが１年以内であり、かつ支給要件期間が３年以上ある者。③教育訓練給付金の支給を受けたことがない者のうち、支給要件期間が１年以上ある者。

申請手続：教育訓練を受講した本人が、受講修了日の翌日から１か月以内に本人の住所を管轄するハローワークに対して所定の書類を提出することによって行う。

支給額：受講のために受講者本人が教育訓練機関に支払った教育訓練経費（入学金及び初年度授業料）の20％に相当する額（上限10万円）。

〈自動車（四輪車）通学の禁止について〉

本学では、大学構内の駐車場用地の確保が困難であることや、違法駐車による近隣への迷惑防止、公共交通機関の利便性などを勘案し、自動車（四輪車）通学を禁止しています。違反した場合は「学則に基づく処分」がなされます。

なお、身体的理由などで徒歩や公共交通機関の利用による通学が困難な場合には、「車両通学特別許可」制度があることを申し添えます。特別な事情のある方は、学生部までご相談ください。

〈北海学園大学大学院内部進学者授業料減額制度〉

大学院進学を希望している本学の学生に対し、経済的支援を行うことで進学の後押しをすることを目的として、授業料の減額をする制度となります。

1　対象者
北海学園大学及び北海商科大学を卒業し、本学大学院修士課程に入学した者となります。
※大学院学則第25条による特例学生（社会人特例）を除きます。

2　減額率
授業料（年額）および教育充実費の50％となります（実験実習費は対象外）。

3　減額期間
入学から修了までの期間のうち２年間分（授業料納期４期分）が減額対象期間となります。
ただし、修了延期や休学などで標準修業年限を超過して在学する期間は授業料減額となりません。

4　その他
減額の措置を受けた者は、北海学園奨学生規程及び北海学園大学同窓会奨学支援規程に定める奨学金を受給することができませんのでご注意ください。

◆　申請書は巻末にあります。

〈日本学生支援機構奨学金（貸与）大学院修士段階における「授業料後払い制度」〉

2024年度から大学院修士課程を対象とした「授業料後払い制度」（以下、「後払い制度」）が導入されることになりました。

後払い制度は、授業料として年間776,000円（私立）を上限に日本学生支援機構（以下、「JASSO」）が立て替え、大学院修了後にJASSOへ「後払い」（返還）するものです。後払い制度は最大で２年間（最短修業年限）受けることができます。

制度の詳細は出願時に研究科事務室にお問合せください。

〈北海学園大学同窓会第１種奨学金（給付）〉

北海学園大学同窓会奨学支援規程第６条に基づき、本学の建学の精神と、各研究科が掲げる理念の実践者として広く社会と母校の発展に貢献できる大学院生（修士課程）に対し、年額120,000円を給付します。

15. 学　　費

［一般選抜］［学内推薦選抜］

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1	第１期（入学手続時）	200,000	436,000	50,000	5,000	10,000	701,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
年	計	200,000	872,000	100,000	5,000	10,000	1,187,000
2	第１期（４月20日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
年	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。

＊　北海学園設置の北海学園大学および北海商科大学を卒業後に北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）へ入学するときは、入学金を免除する。ただし、２部卒業生などで以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

［社会人特例選抜］［社会人特例特別推薦選抜］

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1	第１期（入学手続時）	100,000	218,000	30,000	5,000	10,000	363,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
年	計	100,000	436,000	50,000	5,000	10,000	601,000
2	第１期（４月20日）	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
年	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。

＊　北海学園設置の北海学園大学および北海商科大学を卒業後に北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）へ入学するときは、入学金を免除する。

［社会人特例選抜・長期履修］［社会人特例特別推薦選抜・長期履修］

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1	第１期（入学手続時）	100,000	147,000	17,500	5,000	10,000	279,500
	第２期（９月30日）	−	145,000	16,500	−	−	161,500
年	計	100,000	292,000	34,000	5,000	10,000	441,000
2	第１期（４月20日）	−	145,000	16,500	−	−	161,500
	第２期（９月30日）	−	145,000	16,500	−	−	161,500
年	計	−	290,000	33,000	−	−	323,000
3	第１期（４月20日）	−	145,000	16,500	−	−	161,500
	第２期（９月30日）	−	145,000	16,500	−	−	161,500
年	計	−	290,000	33,000	−	−	323,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生は免除。

＊　北海学園設置の北海学園大学および北海商科大学を卒業後に北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）へ入学するときは、入学金を免除する。

明　示　書

講座の名称	経営学研究科経営学専攻			
実施方法	①　通学（　昼間　・　夜間　・　土日）　②　通信　スクーリング（回数　　回）			
指定講座番号	0 1 2 0 0 5 6 － 0 0 2 0 0 1 2 － 8			
講座の創設年月日	教育訓練給付金対象講座の指定期間	過去１年の講座実績	入講者数(累積)（０人）	修了者数　（０人）
平成12年10月１日	2027年9月30日まで			
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	450時間

１．教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	修士（経営学）
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	北海学園大学大学院経営学研究科委員会
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本大学院の修士課程に２年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格すること。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	総務、人事、経理、営業、事務等 民間企業各業界、教育、医療関係等

２．教育訓練の内容

教科（カリキュラム）	時間	使用教材名
講義概要参照		

３．受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされる条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	本学大学院経営学研究科経営学専攻修士課程の社会人特例受験による入学試験に合格し、かつ所定の入学手続きを経て、入学許可を得ること。
③その他	

４．教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

⑴資格取得状況

①昨年度内の受講修了者数		人			
②①のうち目標資格の受験者数		人	受験率(②／①)	100.0	%
③②のうち合格者数		人	合格率(③／②)	100.0	%
④上記②・③の回答者数		人			

⑵受講修了者による講座の評価等

①回答者総数		人	
②受講開始時の就業状況等	１正社員	人	②Ａ：就業者計
	２非正社員、派遣社員	人	
	３その他の就業（自営業等）	人	
	４学生	人	
	５求職中	人	②Ｂ：非就業者計
	６その他（主婦、無職等）	人	
③就業中の受講者による講座の評価	１処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Ａと同数 （又はそれ以下）
	２配置転換等により希望の業務に従事できる	人	
	３社内外の評価が高まる	人	
	４円滑な転職に役立つ	人	
	５趣味・教養に役立つ	人	
	６その他の効果	人	
	７特に効果はない	人	
④就業してしない受講者による講座の評価	１早期に就職できる	人	④の回答数合計 ※②Ｂと同数 （又はそれ以下）
	２希望の職種・業界で就職できる	人	
	３より良い条件（賃金等）で就職できる	人	
	４趣味・教養に役立つ	人	
	５その他の効果	人	
	６特に効果はない	人	
⑤受講者の就業状況	１受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	人	⑤の回答数合計 ※②Ｂと同数 （又はそれ以下）
	２受講修了後３～６か月以内に就職した	人	
	３受講修了後６～12か月以内に就職した	人	
	４就職していない	人	

⑥講座の全体評価	１大変満足	人	⑥の回答数合計 ※①と同数 （又はそれ以下）
	２おおむね満足	人	
	３どちらとも言えない	人	
	４やや不満	人	
	５大いに不満	人	

５．教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

１に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	修士論文の審査は、研究科の審査委員会が行う。試験は、審査委員が筆記又は口頭で行い、修士論文の内容中心に行う。修士論文の合格又は不合格は、研究科委員会において決定する。
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

６．修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

本大学院の修士課程に２年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格すること。	当該年度末（３月）

７．受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

⑴受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	第１年次開始時の教務ガイダンス、第２年次に２回開催する修士論文中間報告会を始め、指導教員を中心に随時研究活動に関する指導を行っている。
⑵受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制（例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	指導教員を中心に研究科委員会及びキャリア支援センターが指導助言を行っている。

８．その他の事項

指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　北海学園	（代表者：安酸　敏眞）
住所及び連絡先	北海道札幌市豊平区旭町４丁目１番40号	TEL：011－841－1161
施設名称及び施設長名	北海学園大学	（施設長：森下　宏美）
住所及び連絡先	北海道札幌市豊平区旭町４丁目１番40号	TEL：011－841－1161
給付制度担当部署・者	北海学園大学　経営学部	（担当者：滝本　広太）
連絡先	電話：011－841－1161	

教育訓練経費	**１．教育訓練給付金の対象となる経費（①＋②）**		536,000　円
	①入学料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		100,000　円
支払い方法	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		436,000　円 （うち、必須教材費　0　円）
①一括払	**２．教育訓練給付金の対象外となる経費（①＋②＋③＋④）**		581,000　円
②分割払	①副読本代（税込額）		0　円
	②実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）		0　円
	③施設維持費（税込額）		0　円
③両方可能	④その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）（税込額）		581,000　円
	３．総額（１＋２）（税込額）		1,117,000　円

教育訓練給付制度の適正な利用に必要となる事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

⑴　教育訓練給付の支給対象となる教育訓練経費とは、教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料に限られます。

⑵　受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材等費は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、当該入学料及び受講料の額から当該還元等に係る額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引等により教育訓練経費の一部の実質的な還元が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、当施設が受講者に発行する、当該還元額が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

⑶　現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

⑷　教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、かつ、修了した場合のみ支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、又は修了試験等を受験等した場合には、教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあっては、当該教育訓練を修了したものとは認められていませんので、教育訓練給付金の支給を受けることはできません。

博士（後期）課程

選 抜 要 項

１．募 集 人 員

研 究 科	博士（後期）課程	定 員
経営学研究科	経 営 学 専 攻	*３名

＊　社会人特例選抜を含む

２．出 願 資 格

[一般選抜]

⑴修士の学位を有する者及び2026年３月取得見込みの者

⑵外国の大学において、前号と同等又は同等以上の学力を有する者

⑶文部科学大臣の指定した者

⑷その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

[社会人特例選抜] 注1

2026年４月において定まった職業（正社員）を有する者（自営業従事者を含む）又は定年退職者・主婦・その他豊富な社会経験を有する者注2で、下記の⑴～⑷のいずれかに該当する者

⑴修士の学位を有する者及び2026年３月取得見込みの者

⑵外国の大学において、前号と同等又は同等以上の学力を有する者

⑶文部科学大臣の指定した者

⑷その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

注１）職業を有している等の理由により、長期履修（５年）による教育課程を希望する場合、入学願書の所定欄に記載のこと。

注２）出願資格の有無についての問い合わせは、出願する前に経営学部事務室までお願いいたします。場合によっては、事前の申請に基づき、協議させていただくことがあります。

３．出 願 期 間

受 付 開 始 日	受 付 締 切 日
2026年１月８日（木）	2026年１月15日（木）

窓口受付時間　平　日　午前９時から午後４時まで（午後０時40分～午後１時40分は除く）

土　曜　午前９時から正午まで

＊郵送出願の場合は、「書留」とし、受付締切日まで到着するよう郵送すること。

４．出 願 書 類

出願者は、次の書類を一括し、事項５の要領で入学検定料を振り込みの上、提出すること。

⑴ 入 学 願 書（本学所定の用紙）

⑵ 受　験　票（本学所定の用紙）

⑶ 志望理由書（本学所定の用紙または本学所定のExcelファイル）

⑷　研究計画書（本学所定の用紙または本学所定のExcelファイル）

※　研究計画書は、修業年限（標準修業年限３年、長期履修５年）に対応した研究計画を記載すること。

⑸　修士論文の写しまたはこれに代わる公表された論文

⑹　⑸で提出した論文の要旨（4000字以内）

⑺　修了証明書または修了見込証明書

⑻　最終出身学校の成績証明書

⑼　写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの縦３cm×横３cm）

⑽　受験票送付用封筒（440円分の切手を貼付したもの）

※　出願手続について以下の事項に注意すること。

㈠　**「研究計画書」**の作成にあたっては**事前指導を行う**ので、出願する前に申し出ること。なお、入学後の指導教授については入学時に指導体制を勘案の上、調整して決定する。

㈡　「志望理由書」は具体的に記入すること。

㈢　なお、⑸において「これに代わる公表された研究論文」を提出する場合は、事前に審査するため、2025年12月15日（月）までに申請し、出願許可を受けることとする。

外国人受験者のみ提出

⑾　在留カードの写し（両面）

※１　証明書については原本とするが､本学大学院修士課程出願時に提出している場合コピーしたものでよい。

※２　留学ビザを取得していない受験生は、合格後のビザ取得に時間がかかり、入学の条件を満たせない場合が多いので、できるだけビザ取得後での受験が望ましい。

【出願における注意事項】

一旦提出した書類等は、理由の如何にかかわらず返還しない。

障がいなどのために、受験時や入学後の学修に際して特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、経営学研究科事務室に必ず相談すること。

５．入 学 検 定 料

入学検定料30,000円は、募集要項に綴り込まれている振込用紙に必要事項を記入し、切り離して最寄の銀行に「電信扱い」で振り込むこと（指定銀行の北洋銀行本支店からの振込手数料は無料ですが、他の金融機関から振り込みの場合、振込手数料が有料となるので、各窓口で確認してください）。

※　入学検定料を振り込む際は、必ず入学願書を持参し、振込用紙及び入学願書の領収印（取扱銀行出納印）①～④がすべて押印されているか確認すること。

６．出 願 場 所

北海学園大学経営学部事務室

〒062-8605　札幌市豊平区旭町４丁目１番40号

TEL011－841－1161㈹（内線 2401）

７．選 抜 方 法

出願時に修士論文、またはこれに代わる公表された研究論文並びに「研究計画書」の提出を求め、筆記試験及び口述試験によって総合的に合否を決定する。

８．試験日・試験会場

試　験　日	2026年２月14日（土）
試 験 会 場	北海学園大学（豊平キャンパス）

＊　自家用車による来校は固く禁ずる。公共交通機関を利用すること。

9. 試験科目・時間

科　目	時　間	内　容
筆記試験 英　語	13：00 ～ 14：30	外国人受験者の場合も原則としては英語とする。ただし、英語を母語とする場合は日本語以外の外国語とするが、事前に協議するものとする。 英和辞典の持ち込みは可、電子辞書の持ち込みは不可。
口　述　試　験	15：00 ～	提出された論文・研究計画等を中心に、プレゼンテーション（30分程度）及び質疑応答。

＊　外国人受験者は、日本語辞書の持ち込みは可、電子辞書の持ち込みは不可。

10. 合否判定の判定および基準

区　分	
一般選抜	書類審査（研究計画書を含む）及び筆記試験と口述試験の結果を多面的・総合的に評価・判定する。
社会人特例選抜	

⑴ 「書類審査」においては､出願書類に含まれる「修士論文（相当する論文等）」ならびに「志望理由書」と「研究計画書」を中心として、博士（後期）課程における学修の素養を確認する。

⑵ 「筆記試験」においては、英語に関する能力・知識を問う。

⑶ 「口述試験」においては、出願書類に含まれる「研究計画書」に記された研究計画が標準修業年限（長期履修希望者においては５年）で達成可能かどうかについて、研究計画の内容、専門分野に関する知識のほか、論理性、発想、問題関心、意欲、態度をはじめとする全般的な学修研究能力の観点から評価する。また、外国人留学生については日本語能力も問う。

11. 合　格　発　表

2026年３月３日(火)　正午

合格者は、北海学園大学経営学部掲示板に掲示する。また、合格者には合格通知書および入学手続書類を郵送する。

不合格者には、試験結果通知書を郵送する。

(電話での問い合せには応じない)

12. 入　学　手　続

2026年３月10日(火) 正午まで

合格者は期日までに次の書類に学費を添えて手続きを完了のこと。

⑴ 事　項　届（所定用紙）

⑵ 学生カード（所定用紙）

⑶ 修了証明書（修了見込みで受験した者のみ）

⑷ 成績証明書（修了見込みで受験した者のみ）

⑸ 写 真 ２ 枚（最近３か月以内に撮影した正面半身脱帽のもの　縦４cm×横３cm）

⑹ 学費等振込後の「払込票（兼受領証)」の写し

〈以下外国人受験者のみ〉

⑺ 誓　約　書

⑻ 在留カードの写し（両面）

⑼ パスポートの写し（顔写真の部分及び在留資格・期限がわかるビザの部分）

⑽　学費支弁者の預金残高証明書及び預金通帳写し等当該預金の入出金の経緯が明らかになるもの
⑾　上記の資金形成に至る過去３年間の収入に関する資料（年ごと）
⑿　学費支弁者の在職証明書（または法人登記簿）、収入を明らかにする資料及び受験生との関係を証明する資料

在留カードの写しの提出

⑴　入学手続が完了した者には、本学から入学許可書を発行する。入学許可書を発行された者は、入国管理局で在留資格「留学」の延長手続を行い、在留カードの交付・更新を受けること。
⑵　在留資格「留学」の延長手続を終えた者は、在留カードの写し（両面）を、経営学部事務室に提出すること。
⑶　在留カードの写し提出期限は、入学年の４月10日とする。
＊　社会人特例選抜で入学を希望する方は「大学院入学者選抜要項」の「出願資格」を参照してください。

13. そ　の　他

〈合理的配慮の提供について〉

相談窓口

経営学研究科事務室　【メール】kyomu-ei○hgu.jp　（○を@に変えてください）
【お電話】011－841－1161㈹　経営学研究科 事務担当 (内線2401)

事前相談や配慮申請方法

病気･負傷や障害等のために、受験時や入学後の学修に際して配慮を希望する方は、出願１か月前を目安に、必ず経営学研究科事務室までご相談ください。このような状態以外（例：ジェンダーに関する配慮等）についても、同様にご相談ください。なお、希望する内容によっては、診断書などの提出が必要になり、場合により面談を行いますが、配慮を行えないこともあります。

ご相談内容や提出された書類は、経営学研究科事務室と関連部署間で共有し、受験上の配慮や入学後の配慮のために活用いたします。また、出願時および入学手続き書類等における個人情報の取扱いに準じて処理し、管理いたします。

なお、過去の配慮事例には次のようなものがあります。受験者の状況等により、配慮内容は異なります。

受験上の配慮の一般的な例

・車いす使用での受験可能座席の確保
・試験中の投薬
・別室受験または個室受験
・試験室内での希望座席
・補聴器の使用
・試験中の水分補給
・試験時口頭説明内容の文書配布
・拡大機の持込、問題･解答用紙の拡大
・時間延長
・付き添い者の控室
・特製専用机の持込
・自家用車での入構
・指定マイクの使用
・休憩時の介助者入室
・試験室内への医療器具の持込

〈過去の入試問題について〉

大学ホームページ（https://www.hgu.jp/examination/graduate-past-questions.html）において、過去の入試問題を公開していますので、ご参照ください。

〈長期履修制度について〉

職業を有している等の事情により、標準修業年限（３年）を超えて計画的に教育課程を履修することを希望

する場合、入学願書に必要な記載を行い、願い出ることで、本研究科は、長期履修（５年）を認めることがあります。長期履修が認められると、時間的に余裕を持った研究計画を立てることができるばかりでなく、授業料などがより長期に按分されますので、単年度の経済的負担を軽減することができます。また、長期履修を認められた学生が長期履修期間の短縮を願い出ることもできます。この制度は社会人特例受験者に該当します。

〈奨学金について〉

研究生活を経済的側面から支援するものとして、北海学園奨学金、日本学生支援機構奨学金などの各種奨学金制度があります（それぞれの制度によって奨学生採用の要件や給付･貸与の金額等が異なります）。これらの制度を有効に活用してください。

14. 学　　費

［一般選抜］

（単位；円）

納入時＼納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1年	第１期（入学手続時）	200,000	436,000	50,000	5,000	10,000	701,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	200,000	872,000	100,000	5,000	10,000	1,187,000
2年	第１期（４月20日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000
3年	第１期（４月20日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	第２期（９月30日）	—	436,000	50,000	—	—	486,000
	計	—	872,000	100,000	—	—	972,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生・修了生は免除。

＊　北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）および北海商科大学大学院修士課程修了後に博士（後期）課程へ入学するときは、入学金を免除するが以前納入した入学金との差額がある場合は、その差額を徴収する。

［社会人特例選抜］

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1年	第１期（入学手続時）	100,000	218,000	30,000	5,000	10,000	363,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	100,000	436,000	50,000	5,000	10,000	601,000
2年	第１期（４月20日）	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000
3年	第１期（４月20日）	—	218,000	30,000	—	—	248,000
	第２期（９月30日）	—	218,000	20,000	—	—	238,000
	計	—	436,000	50,000	—	—	486,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生・修了生は免除。

＊　北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）および北海商科大学大学院修士課程修了後に博士（後期）課程へ入学するときは、入学金を免除する。

［社会人特例選抜・長期履修］

（単位；円）

納入時 ＼ 納入金		入　学　金	授　業　料	教育充実費	同窓会入会金	同 窓 会 費	合　　計
1年	第１期（入学手続時）	100,000	133,500	15,000	5,000	10,000	263,500
	第２期（９月30日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	計	100,000	264,000	30,000	5,000	10,000	409,000
2年	第１期（４月20日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	第２期（９月30日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	計	−	261,000	30,000	−	−	291,000
3年	第１期（４月20日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	第２期（９月30日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	計	−	261,000	30,000	−	−	291,000
4年	第１期（４月20日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	第２期（９月30日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	計	−	261,000	30,000	−	−	291,000
5年	第１期（４月20日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	第２期（９月30日）	−	130,500	15,000	−	−	145,500
	計	−	261,000	30,000	−	−	291,000

＊　同窓会入会金・同窓会費について、本学卒業生・修了生は免除。

＊　北海学園大学大学院修士課程（専門職学位課程含む）および北海商科大学大学院修士課程修了後に博士（後期）課程へ入学するときは、入学金を免除する。

出 願 書 類

〔修士課程〕

〔博士（後期）課程〕

願書等提出書類一覧

○印の書類を一括で提出のこと
詳細については要項を参照すること

	修士課程				博士(後期)課程	
	一　般	学内推薦	社会人特例	外国人(留)学生	一般・社会人特例	外国人(留)学生
入学願書	○	○	○	○※1	○	○※1
受験票	○	○	○	○	○	○
志望理由書	○	○	○	×	○	×
研究計画書	○	○	○	○	○	○
修士論文の写しまたはこれに代わる公表された論文	―	―	―	―	○	○
上記論文の要旨	―	―	―	―	○	○
卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書	○	○	○	○	○	○
最終出身学校の成績証明書	○	○	○	○	○	○
推薦書	×	○	×	○	×	×
写真２枚(必要書類に添付のこと)	○	○	○	○	○	○
受験票送付用封筒(440円切手貼付)	○	○	○	○	○	○
在留カードの写し（両面）	×	×※2	×	○	×	○
授業料減額申請書	○※3	○	×	×	―	―

※１　外国人留学生・外国人学生の受験生は①および②の２種類必要
※２　学内推薦選抜の外国人留学生は必要
※３　本学在学生または卒業生で、一般選抜を受験する受験生のみ申請可

〈個人情報の取扱いについて〉

本学では個人情報の取扱いについて、本人から提出いただいた出願時及び入学手続書類等については個人情報として処理し、厳重に管理します。具体的には、次の事項に留意して対応していきます。

（利用目的の特定）

個人情報は、合否判定、合格通知の発送およびご入学後の教育、修学及び進路指導、事務連絡、各種郵便物の発送等について、教職員が職務上必要な範囲において利用します。

（第三者への情報提供・制限）

予め本人の同意を得ずに、個人情報を「利用目的の特定」の範囲外において第三者に提供することはありません。ただし、本学関係諸機関（北海学園大学同窓会、北海学園生活協同組合、北海学園教職員組合）へは、本人の氏名、学部、学科、学年、学生番号、住所、郵便番号、電話番号等をそれぞれ提供し、ダイレクトメールによる案内に利用します。

（本人の同意）

利用目的外で学生の個人情報を扱う場合には、その都度本人の同意を得るようにいたします。

（個人情報の開示・訂正・利用停止等措置）

個人情報を開示することにより、本学の業務に著しい支障が生ずる恐れがある場合を除き、本人からの求めに応じて個人情報を開示するとともに、必要に応じて個人情報の訂正、削除等を行います。

（苦情処理対応）

本人から、自己に関する個人情報の苦情等の申出があった場合、適切かつ迅速に処理します。

取扱銀行の方へ

入学検定料の領収印は、右記の①から③の他に、別紙「2026年度北海学園大学大学院入学願書」にもあります（④）。

お手数ですが、④の欄にも必ず押印くださいますようお願いいたします。

志　願　者　へ

入学検定料を振り込む際は、別紙「2026年度北海学園大学大学院入学願書」を必ず持参すること。

2026年度
北海学園大学大学院経営学研究科

『入学検定料』
領　収　書　A

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1018454
	北海学園大学（ホッカイガクエンダイガク）
手数料	

振込み金額領収いたしました。
（取扱銀行）　　銀行
支店

志願者 氏　名	

本書をもって入学検定料の領収とします。
北海学園大学大学院経営学研究科

取扱銀行出納印
1
（本人保管）

北海学園大学大学院経営学研究科

電信扱い

2026年度
北海学園大学大学院経営学研究科

『入学検定料』
振込通知書　B

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1018454
	北海学園大学（ホッカイガクエンダイガク）

上記のとおり振込みましたのでご通知申し上げます。
（内訳）　　入学検定料　30,000円

フリガナ	
志願者 氏　名	
住所〒　　－	
☎（　　）　　－	

取扱銀行出納印
2
（取扱銀行→振込先銀行→北海学園大学）

北海学園大学大学院経営学研究科

電信扱い

2026年度
北海学園大学大学院経営学研究科

『入学検定料』
振込依頼書　C

金　額	￥	万	千	百	十	円
		3	0	0	0	0

振込先銀行口座	
	北洋銀行豊平支店
	普通口座番号
	1018454
	北海学園大学（ホッカイガクエンダイガク）
手数料	

〈取扱銀行へお願い〉
＊出納印は、領収書A・振込通知書B・振込依頼書Cの３カ所の他に願書の検定料領収欄にも押印してください。

フリガナ	
志願者 氏　名	
住所〒　　－	
☎（　　）　　－	

取扱銀行出納印
3
（取扱銀行保管）

北海学園大学大学院経営学研究科

取扱銀行へお願い

1．振込通知書は、取りまとめ銀行へ、必ず**電信扱い**で当日中に急送してください。

2．**組戻し請求には、絶対応じないようお願いします。**この場合は、大学へ申し出るようご指示ください。

3．取扱銀行出納印が４カ所ありますので、お手数ですが、押印洩れのないようお願いします。

経営学研究科　検定料受付期間

修士課程

第Ⅰ期	**2025年８月22日㈮ ～９月８日㈪**
第Ⅱ期	**2026年１月８日㈭ ～１月15日㈭**

博士（後期）課程

2026年１月８日㈭ ～１月15日㈭

振り込みの注意

1．振込金額は、入学検定料30,000円です。
最寄りの銀行または信用金庫より振り込んでください。

2．出納印のない願書は検定料未納とみなし、受け付けませんので注意してください。

3．振込手数料は、北洋銀行の本支店では無料ですが、他行では有料となるので窓口で確認してください。

2026年度　北海学園大学大学院　経営学研究科　修士課程

入　学　願　書（一般・社会人特例用）

受験番号	※

該当するものを○印で囲む	選抜区分	学内推薦選抜　一般選抜　社会人特例選抜　（標準年限　長期履修）
	共通専門科目*	組織経営　組織情報　組織心理　*出願時選択

フリガナ 氏名		男・女	生年月日	年　月　日生 （満　歳） 2025年4月1日現在	写真貼付欄 3 cm × 3 cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近3ヵ月以内に撮影したもの
現住所	〒　— TEL（　）　—				
通知先	〒　— TEL（　）　—			本籍地	都道府県
緊急連絡先	携帯電話 —　—	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間			

	年　月	事　項
学歴	年　月	高等学校　卒業
	年　月	大学　学部　卒業 学科　卒業見込
	年　月	
	年　月	
職歴	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　— TEL（　）　—	
演習指導希望教員名	（第1希望）	（第2希望）●一般選抜者のみ記入
長期履修を希望する理由（社会人特例選抜のみ）		検定料領収印 取扱銀行出納印 4

※欄は、記入しないこと

北海学園大学大学院経営学研究科

2026年度　北海学園大学大学院　経営学研究科　博士（後期）課程

入　学　願　書（一般・社会人特例用）

受験番号	※

選抜区分	該当するものを○印で囲む	（一般選抜）（社会人特例選抜）（（標準年限）（長期履修））

フリガナ		男・女	生年月日	写真貼付欄
氏名			年　月　日生（満　歳） 2025年4月1日現在	3cm × 3cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近3ヵ月以内に撮影したもの
現住所	〒　— TEL（　）　—			
通知先	〒　— TEL（　）　—	本籍地	都道府県	
連絡先	携帯電話　—　—	緊急	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間	

	年　月	事　項
学歴	年　月	高等学校　卒業
	年　月	大学　学部　卒業 学科　卒業見込
	年　月	大学大学院　課程　修了 研究科　専攻　修了見込
	年　月	
職歴	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　— TEL（　）　—	
演習指導希望教授名	教授	検定料領収印 取扱銀行出納印 4
長期履修を希望する理由（社会人特例選抜のみ）		

※欄は、記入しないこと

2026年度　北海学園大学大学院　経営学研究科　修士課程

入　学　願　書（外国人（留）学生用①）

受験番号	※

該当するものを○印で囲む	選抜区分	学内推薦選抜　一般選抜　社会人特例選抜　（標準年限　長期履修）
	共通専門科目*	組織経営　組織情報　組織心理　*出願時選択

フリガナ		アルファベット表記	男・女	写真貼付欄 3 cm × 3 cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近3ヵ月以内に撮影したもの
氏名				
生年月日	年　月　日生 （満　歳） 2025年4月1日現在	国籍		
現住所	〒　— TEL（　）　—			
通知先	合格 〒　— TEL（　）　—			
連絡先	緊急 携帯電話 —　—	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間		

学歴	初等教育（小学校）	学校名 所在地	入学 年 月～ 卒業 年 月	在学期間 年
	前期中等教育（中学校）	学校名 所在地	入学 年 月～ 卒業 年 月	在学期間 年
	後期中等教育（高等学校）	学校名 所在地	入学 年 月～ 卒業 年 月	在学期間 年
	高等教育（大学）	学校名 所在地	入学 年 月～ 卒業 年 月 学位の種類	在学期間 年
		学校名 所在地	入学 年 月～ 卒業 年 月 学位の種類	在学期間 年

職歴	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　— TEL（　）　—	
演習指導希望教員名	（第1希望）	（第2希望）●一般選抜者のみ記入
長期履修を希望する理由（社会人特例選抜のみ）		

検定料領収印

取扱銀行出納印

4

※欄は、記入しないこと

北海学園大学大学院経営学研究科

2026年度　北海学園大学大学院　経営学研究科　博士（後期）課程

入　学　願　書（外国人（留）学生用①）

受験番号	※

選抜区分	該当するものを○印で囲む	（一般選抜）（社会人特例選抜）（（標準年限）（長期履修））

フリガナ		アルファベット表記	男・女	写真貼付欄 3 cm × 3 cm 単身、正面 上半身、脱帽 最近3ヵ月以内に 撮影したもの
氏名				
生年月日	年　月　日生 （満　歳） 2025年4月1日現在	国籍		
現住所	〒　— TEL（　）　—			
通知合格	〒　— TEL（　）　—			
緊急連絡先	携帯電話 —　—	入学後の自宅または勤務先からの通学手段と所要時間		

学歴				
初等教育（小学校）	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月	在学期間　年	
前期中等教育（中学校）	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月	在学期間　年	
後期中等教育（高等学校）	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月	在学期間　年	
高等教育（大学）	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月 学位の種類	在学期間　年	
	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月 学位の種類	在学期間　年	
高等教育（大学院）	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月 学位の種類	在学期間　年	
	学校名 所在地	入学　年　月～　卒業　年　月 学位の種類	在学期間　年	

職歴		
	年　月～	
	年　月～	
	年　月～	現在に至る

勤務先所在地	〒　— TEL（　）　—	検定料領収印 取扱銀行出納印 4
演習指導希望教授名	教授	
長期履修を希望する理由（社会人特例選抜のみ）		

※欄は、記入しないこと

2026年度　北海学園大学大学院　経営学研究科　修士課程・博士（後期）課程

入　学　願　書（外国人留学生用②）

受験番号	※

選抜区分	該当するものを○印で囲む	学内推薦選抜　一般選抜　社会人特例選抜　（標準年限　長期履修）

フリガナ / 氏名		生年月日	年　月　日生（満　歳） 2025年4月1日現在	男・女

志望理由	

※欄は、記入しないこと

受験生本人以外の連絡先（日本国内）　　＊札幌市またはその近郊に居住する日本人が望ましい

フリガナ / 氏名	印	受験生との関係	
現住所	〒　—	TEL（　）　— 携帯（　）　—	
職業		勤務先	TEL（　）　—

北海学園大学大学院経営学研究科

2026年度　受験票［修士課程］

一　般	学内推薦	社会人	受験番号	※	写真貼付欄
フ　リ　ガ　ナ					
氏　　名					

試験科目等

試　　験　　日	2025年10月4日(土) (第Ⅰ期)	2026年2月14日(土) (第Ⅱ期)
	10：30～11：50	13：00～
学 内 推 薦	口 述 試 験	
一　　般	共通専門科目 指導希望教授担当科目	口 述 試 験
社 会 人 特 例		

指導希望教授担当科目	※　　特殊講義

●試験当日は本票を必ず持参すること　　**※欄は、記入しないこと**
●試験開始10分前には着席すること

北海学園大学大学院経営学研究科

2026年度　受験票［博士(後期)課程］

一　般	社会人	受験番号	※	写真貼付欄
フ　リ　ガ　ナ				
氏　　名				

試験科目等

試　　験　　日	2026 年　2　月　14　日 (土)

	13：00～14：30	15：00～
一　　般	英　　語	口　述　試　験
社 会 人 特 例		

●試験当日は本票を必ず持参すること　　**※欄は、記入しないこと**
●試験開始10分前には着席すること

北海学園大学大学院経営学研究科

2026年度 北海学園大学大学院経営学研究科入学志願者

志　望　理　由　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	経営学専攻　修士課程（外国人留学生は除く） 博士(後期)課程(外国人留学生は除く) いずれかに○印をつけること
氏名			

備考　※欄は、記入しないこと

2026年度 北海学園大学大学院経営学研究科入学志願者

研　究　計　画　書

受験番号	※

フリガナ		専攻課程	経営学専攻　修士課程 博士（後期）課程 いずれかに○印をつけること
氏名			

卒業論文あるいは修士論文主題目

研究テーマ

研究計画（予定修業年限にあわせて記載すること）

備考　(1)　記載により用紙に不足が生じる場合には、あらかじめコピーをした上で追加使用すること
　　(2)　※欄は、記入しないこと

北海学園大学大学院経営学研究科

北海学園大学大学院経営学研究科修士課程出願資格審査申請書

貴大学院経営学研究科修士課程に出願したいので、出願資格について審査を申請します。

令和　　年　　月　　日

申請者　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

昭和・平成　　年　　月　　日生

北海学園大学大学院経営学研究科長　殿

本人現住所	〒 E-mail　　TEL（　　）
本人勤務先	**勤務先名** **勤務先住所**　〒

本研究科に出願しようとする理由（申請者本人が、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると考えている理由についても記入すること。）

学歴・職歴（学歴は高校卒業から。最終学校卒業後の教育課程についても記入すること。）	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	

免許・資格等			
年　月　日		年　月　日	
年　月　日		年　月　日	

※大学記入欄（受験番号）

年　　月　　日

学校法人 北 海 学 園
理事長 安 酸 敏 眞　殿

北海学園大学大学院 授業料減額申請書

私は，北海学園大学大学院修士課程の授業料減額制度を理解し，減額を申請します。

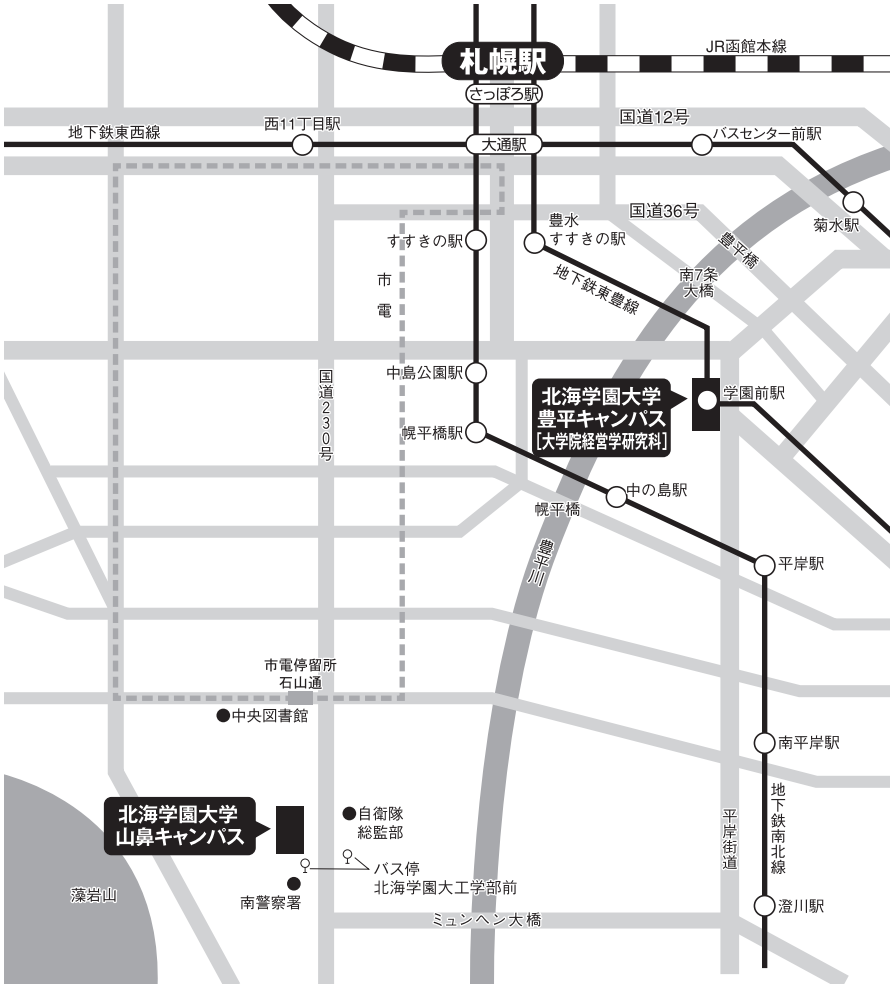
北海学園大学大学院

＿＿＿＿＿ 学研究科　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［卒業大学：学部：学科：卒業年月］

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 大学

＿＿＿＿＿＿＿＿ 学部　＿＿＿＿＿＿＿＿ 学科　＿＿＿＿＿＿＿＿ 年　＿＿＿＿＿＿＿＿ 月　卒業



北海学園大学大学院経営学研究科

〒062-8605 札幌市豊平区旭町４丁目１番40号　電話(011)841-1161㈹
（地下鉄東豊線「学園前」駅直結、「さっぽろ」駅より６分）